

第 3 節 地球環境に関する調査研究の推進

第 1 地球環境問題研究調整会議の運営

府立の大学や研究機関等から構成する「地球環境問題研究調整会議」（平成 2 年設置）を通じて、機関相互の連携体制の強化を図り、地球環境問題に係る試験研究・技術開発に努めるとともに、光触媒による窒素酸化物の分解に関する研究を推進した。

第 2 （財）地球環境産業技術研究機構の支援

地球環境の保全に資する産業技術の研究・開発調査研究を実施し、また、技術情報の収集・提供等を行い、国際的な研究交流の中核となる（財）地球環境産業技術研究機構（平成 2 年 7 月設立）に対して、運営の支援に努めた（2-96表）。

第 3 地球環境関西フォーラムへの参画

地球環境を保全または改善するために、広く英知を結集し、地球環境問題の現状と将来に関する調査研究事業を行うなど、地球環境問題の克服に寄与することを目的として設立された地球環境関西フォーラム（平成 2 年 6 月発足）に参画し、平成 4 年 6 月に策定した「アクション・プログラム」の具体化を目指し、ライフスタイル自己診断システム開発等のソフト開発などフォローアップ活動に努めた。

2-96表 財地球環境産業技術研究機構における主な研究開発プロジェクト

プロジェクト名	プロジェクトの概要	期 間
生物的 CO ₂ 固定化プロジェクト	・光合成能の優れた細菌・微細藻類を用いた、CO ₂ の固定及び有用物質の生産	1990～1999年
化学的 CO ₂ 固定化プロジェクト	・CO ₂ と水素を反応させてメタノール等の有用物質を合成するための触媒研究開発	〃
新世代冷媒・プロジェクト	・冷媒として用いられているフロン 114にかわる第 3 世代フロンの研究開発	1990～1994年
生分解性プラスチックプロジェクト	・土壌中で容易に分解できるプラスチックの研究開発	1990～1997年